

# 1.8.(1)展開の手引き ～住民検査会場（屋外テント）～

展開目安時間：約240分／5人作業  
(テント組立～運用開始)

## 要員装備

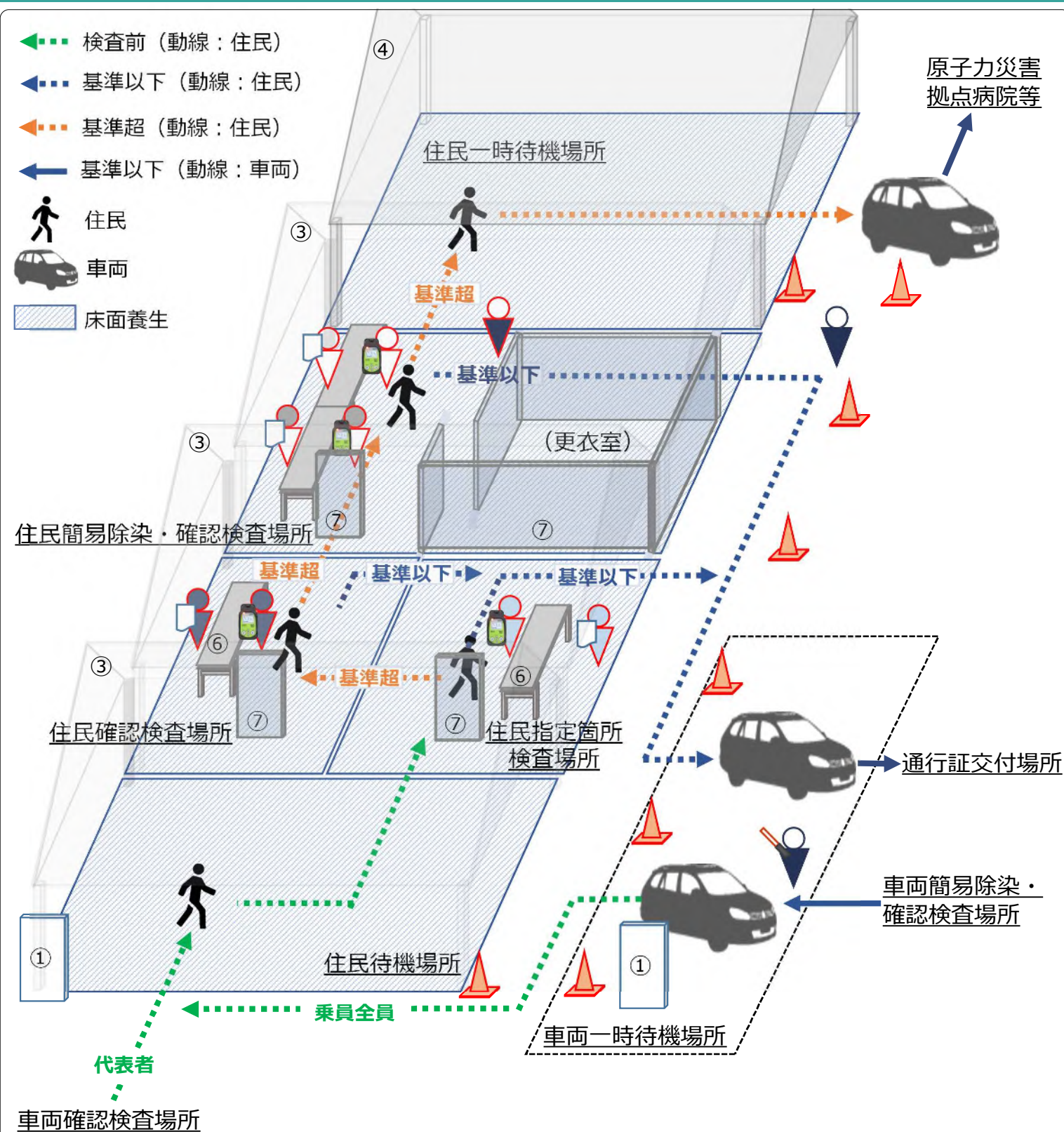
要員	物品
 車両誘導係	 LED誘導棒 LEDベスト
 検査係	 表面汚染検査用測定器 ビブス サージカマスク 綿手袋 ゴム手袋
 記録係	 ビブス 筆記用具・検査結果記入用紙
 住民誘導係	 LEDベスト

- Point 電子式個人線量計は、同一グループの最も被ばくしやすい者が着用。
- 車両、住民の簡易除染、汚染物質の取り扱いの役割を担う者は、使い捨てがウ、ズボン、帽子等を着用してもよい。

## 設営資機材

 ①各種案内板	 ⑦7°レパレーション	 ⑬ウ入	 ⑮保護用椅子被覆ビニール袋	 ⑳発電機
 ②案内板の固定用重り	 ⑧床面養生シート	 ⑭除染後の着換え衣類	 ⑲養生テープ(緑、青、黄)	 ㉑椅子
 ③テント：組立タイプ(約3.6×5.4m、横幕)	 ⑨ハサミ	 ⑮ラップフィルム	 ⑳養生テープ(緑、青、黄)	 ㉒延長コード
 ④テント：組立タイプ(約1.8×2.7m、横幕)	 ⑩タオル	 ⑯廃棄物保管用容器	 ㉑椅子	 ㉒照明
 ⑤テント重り	 ⑪ウエットティッシュ	 ⑰除染方法のチラシ	 ㉒照明	 ㉔スポットクーラー・電気ストーブ
 ⑥机	 ⑫粘着テープ			

## レイアウト例



- Point 基準以下と基準超で導線が交差しないレイアウトにし、汚染が拡大する可能性を防ぐ。
- 作業場所の床は⑧床面養生シートで養生する。
- 設営資機材⑩～⑱は「住民簡易除染・確認検査場所」に配置する。
- 必要に応じて、⑦7°レパレーションで住民のプライバシーを確保する。
- ⑳養生テープは、レイアウト例を参考に案内矢印を色分け(検査前(緑)、基準以下(青)、基準超(黄))をして貼ること。



# 1.8.(1)展開の手引き ～住民検査会場（屋外テント）～

展開目安時間：約240分／5人作業  
(テント組立～運用開始)

## 1. テント組立

(1) 取扱説明書を基に③、④テントの骨組みを組み立てる。



(2) テントの天幕を張り、骨組みの四隅を天幕の紐で仮結びする。



(3) ③、④テントの支柱を片足ずつ立てて筋交を固定し、天幕の紐全てを本結びする。



**Point** 転倒防止のため、支柱を立てたら直ぐに筋交を固定する。  
支柱を立てるときは、指を挟まないよう注意する。

(4) レアウトを基に③、④テントの配置を調整してから⑤重りで固定し横幕を張る。



**Point** 導線部分は遮らないように横幕を折り込んで張る。

## 2. 床面の養生

(1) レアウトを基に⑧床面養生シートを③、④テントの床に広げ、⑨ハミで必要な長さにかつする。



**Point** 汚染の可能性がある場所は全て養生する。

(2) ⑧床面養生シートを⑩粘着テープ又は⑤重りで床に固定する。



## 3. 資機材の配置

レアウトを基に資機材を配置する。



**Point** 必要に応じ、夜間は室内灯を設置する。

## 4. 椅子の養生

汚染の恐れがある⑪椅子に⑬保護用椅子被覆ビニール袋を被せ、⑫粘着テープで足元を固定する。



## 5. 案内矢印の作成

レアウトを基に床面に⑭養生テープ（緑、青、黄）を用いて導線の案内矢印を作成する。



**Point** 交差汚染を防ぐため導線を分ける。  
検査前、基準以下、基準超の3種類で色分けする。

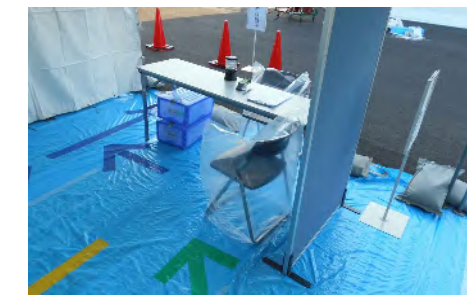
## 配置イメージ



入口



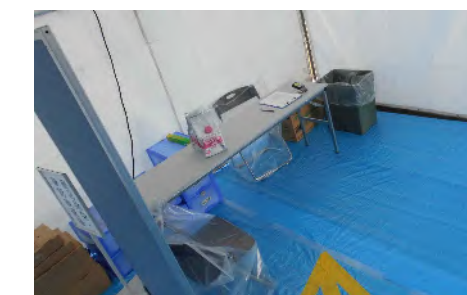
住民待機場所



住民指定箇所検査場所



住民確認検査場所



住民簡易除染・確認検査場所




更衣室



# 1.8.(2) 展開の手引き ～住民検査会場（屋内建屋）～

展開目安時間：約90分／5人作業  
（資機材搬入～運用開始）

## 要員装備

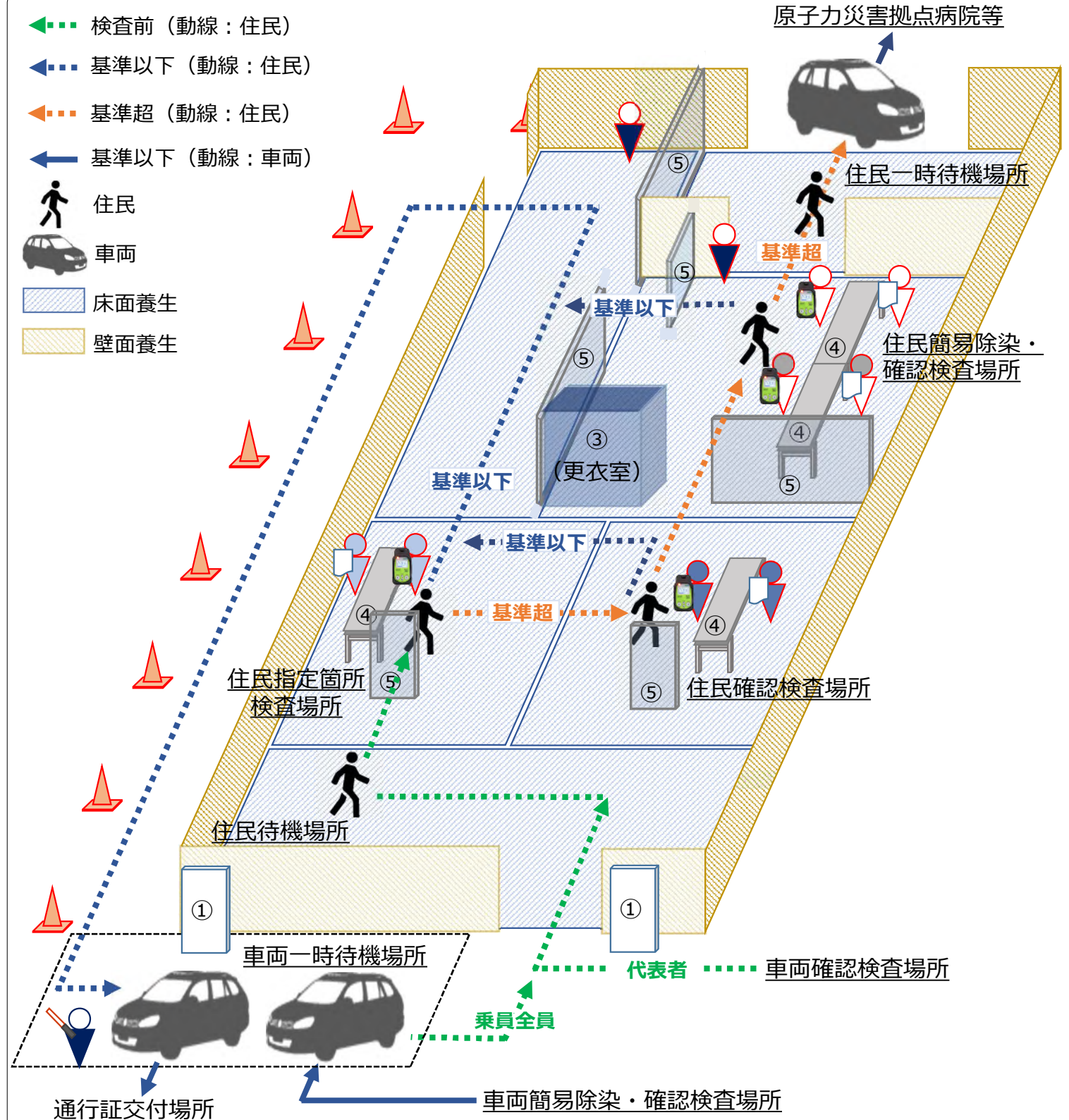
要員	物品
 <b>車両誘導係</b>	 LED誘導棒  LEDベスト
 <b>検査係</b>	 表面汚染検査用測定器  ビブス  サージカルマスク  綿手袋  ゴム手袋
 <b>記録係</b>	 ビブス  筆記用具・検査結果記入用紙
 <b>住民誘導係</b>	 LEDベスト

- Point 電子式個人線量計は、同一グループの最も被ばくしやすい者が着用。
- 車両、住民の簡易除染、汚染物質の取り扱いの役割を担う者は、使い捨てがウ、ズボン、帽子等を着用してもよい。

## 設営資機材

 ①各種案内板  ②案内板の固定用重り  ③更衣室用テント  ④机  ⑤パネルパーティション	 ⑥床面養生シート  ⑦壁面養生ビニール  ⑧ハサミ  ⑨タール  ⑩ウエットティッシュ	 ⑪粘着テープ  ⑫ウイス  ⑬除染後の着替え衣類  ⑭ラップフィルム  ⑮廃棄物保管用容器	 ⑯除染方法のチラシ  ⑰大小ポリ袋  ⑱保護用椅子被覆ビニール袋  ⑲養生テープ（緑、青、黄）  ⑳椅子  ㉑照明	 ㉒発電機  ㉓携行缶（ガリン）  ㉔延長コード  ㉕スポットウェルダー・電気ストーブ
---	---	---	---	--

## レイアウト例



- Point 基準以下と基準超で導線が交差しないレイアウトにし、汚染が拡大する可能性を防ぐ。
- 作業場所の床は⑥床面養生シート、壁面は⑦壁面養生ビニールで養生する。
- 設営資機材⑨～⑰は「住民簡易除染・確認検査場所」に配置する。
- 必要に応じて、⑤パネルパーティションで住民のプライバシーを確保する。
- ⑲養生テープは、レイアウト例を参考に案内矢印を色分け（検査前（緑）、基準以下（青）、基準超（黄））をして貼ること。
- 汚染する可能性がある壁は全て養生し、地面から高さ1.8mまで養生すること。



# 1.8.(2)展開の手引き ～住民検査会場（屋内建屋）～

展開目安時間：約90分／5人作業  
(資機材搬入～運用開始)

## 1. 床面の養生

(1) ①ア外を基に⑥床面養生シートを床に広げ、  
⑧ハミで必要な長さにかつする。



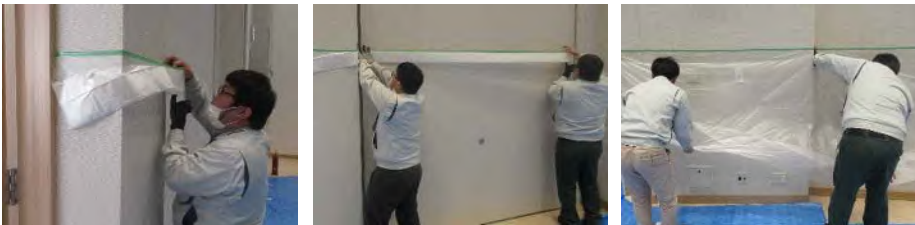
**Point** 汚染する可能性がある床は全て養生する。

(2) ⑥床面養生シートを⑩粘着テープで床に固定する。



## 2. 壁面の養生

(1) ⑦壁面養生ビニルのテープ部を壁に貼り付けてから⑧ハミで  
必要な長さにかつし、折込みを広げる。壁面は、地面から  
高さ約1.8mまで養生する。



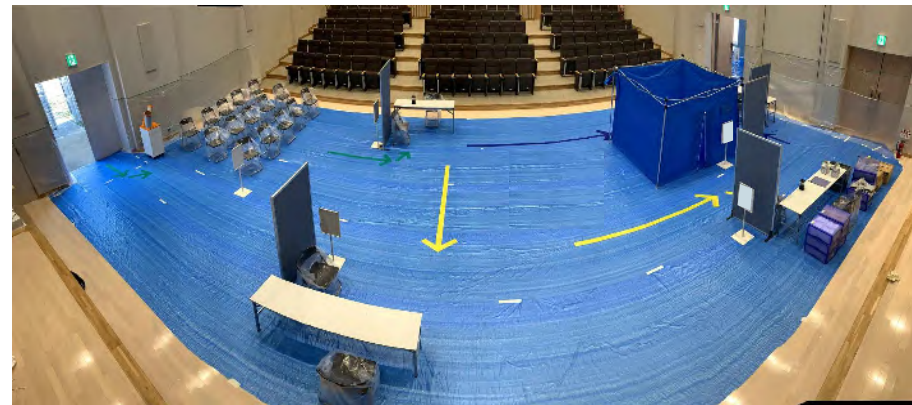
**Point** 汚染する可能性がある壁は全て養生する。

(2) 折込みを広げた⑦壁面養生ビニルの下部を⑩粘着テープで  
床又は壁に固定する。



## 3. 資機材の配置

①ア外を基に資機材を配置する。



**Point** それぞれの検査場所はパネルパーテーション等で区画分けしプライバシーを確保する。

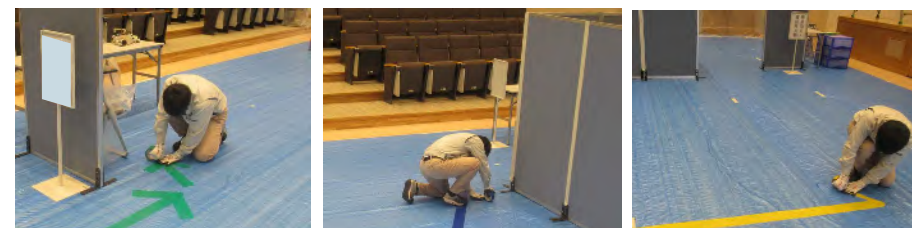
## 4. 椅子の養生

汚染の恐れがある⑫椅子に⑬保護用椅子被覆ビニル袋を被せ、  
⑩粘着テープで足元を固定する。



## 5. 案内矢印の作成

①ア外を基に床面に⑨養生テープ（緑、青、黄）を用いて  
導線の案内矢印を作成する。



**Point** ・交差汚染を防ぐため導線を分ける。  
・検査前（緑）、基準以下（青）、基準超（黄）の  
3種類で色分けする。

## 配置イメージ



入口



住民待機場所



住民指定箇所検査場所



住民確認検査場所



住民簡易除染・確認検査場所



更衣室

## 補足（パネルパーテーションによる更衣室）



**Point** 更衣室は迷路構造によりプライバシーを確保する。